

第2回
清明の会

小泉八雲 朗読のしらべ

八雲 彷徨

Seimei no Kai vol.2
Lafcadio Hearn
Reading Performance
Shiro Sano reading
Kyoji Yamamoto music
Bon Koizumi lecture
Sunday February 24 2019
Minatogawa Jinja
Shinnouden
KOBE



平成31(2019)年

2月24日(日) 14時 開場13時

湊川神社神能殿

神戸市中央区多聞通3-1-1

佐野史郎
脚本朗読

山本恭司
音楽

小泉凡
監修講演

全席自由
「一般」5000円(当日6000円)
「学生」2000円(当日3000円)
(チケット取扱)

一般社団法人日本文化舎
〒090-8218-0280
078-3271-3258(10時-18時)
078-230-3300(10時-18時)
0570-02999
plai/te

主催 一般社団法人日本文化舎
後援 湊川神社
神戸市
神戸市教育委員会
公益社団法人神戸市民文化振興財団
関西元気文化園

協賛
酒房
山卓
手打そば

一般社団法人
日本文化舎
nippon bunka sha
SINCE 2018
Kobe japan



写真 森島興一 © Lafcadio Hearn Reading Performance

デザイン 石川陽春

小泉八雲

朗読のしらべ

佐野史郎と山本恭司が朗読と音楽で表現する、小泉八雲の世界。

日本を代表する俳優の佐野史郎と世界的なギタリスト山本恭司は、ともに小泉八雲が「神々の国の首都」として畏敬し、親しんだ町、島根県松江市の出身です。その二人のライフワークとして、作家小泉八雲の作品を素材とした朗読パフォーマンスを、2006年より継続的に行っています。



佐野史郎

—さのしろう—

俳優。島根県松江市出身。

1975年、劇団シエクスピア・シアターの創立に参加。1980年より劇団状況劇場(唐十郎主宰)を経て、1986年林海監督「夢みるように眠りたい」で映画主演デビュー。1992年テレビドラマ「ずっとあなたが好きだった」(TBS)のマザコン男、

冬彦役が社会現象となる。1999年、映画「カラオケ」で初監督。2006年、植田正治の写真をモチーフにした映像作品「つゆのひとしく」(DVD/2006年)東映アニメーションを監督。アレクサンドル・クロフ監督「太陽」、カン・ジェギョ監督「マ

イウェイ」など海外作品にも出演。これまでの出演作品は110本を超える。幼少期から幻想怪奇の世界に親しみ、松江ゆかりのラフカディオ・ハーンII小泉八雲にも惹かれていた。映像の仕事にたずさわ

るようになり、ますます小泉八雲作品と関わる機会も増え、2006年に松江で始まった小泉八雲の朗読は今やライフワークとなっている。BOWOWの山本恭司とは松江南高校の同級生で、音楽を通じて当時から深く親交が続いている。



山本恭司

—やまもときょうじ—

ミュージシャン。島根県松江市出身。

15歳でギターをはじめ、18歳でヤマハ・ネム音楽院に入学。その頃より天才ギタリストとしての呼び声高く、在学中にBOWOWのリード・ギタリスト、リード・ボーカリストに抜擢される。

デビュー当時は、キッスやエアロスミスとのツアーが大きな話題を呼び、豪快で圧倒的なサウンドとギターテクニクにより常に日本のロック・シーンをリードしてきた。その後、BOWOWを結成しロンドンをベースにヨーロッパ、アメリカで約4年間活動。イギリスでチャートインするなど海外での評価も高く、海外有名アーティストへの影響力も大きい。

バンド活動以外にも、ギター・インストゥルメンタル・アルバムのリリースやジャズ・フュージョン系ミュージシャンとのセッション、アコースティックの弾き語り、最近では俳優・佐野史郎との「朗読のしらべ」の音楽を担当するなど、他アーティストのプロデュースに至るまで、その幅広い音楽性を武器に世界の音楽シーンで活躍している。



小泉凡

—こいずみぼん—

小泉八雲記念館館長・焼津小泉八雲記念館名誉館長・島根県立大学短期大学部名誉教授。東京都出身。

成城大学・同大学院文学研究科で民俗学を専攻後、1987年に松江へ赴任。妖怪、怪談を切り口に、文化資源を発掘し

観光・文化創造に生かす実践研究や、小泉八雲の「オープン・マインド」を社会に活かすプロジェクトを世界のゆかりの地で展開する。2017年7月、日本・アイルランドの文化交流貢献で外務大臣表彰。著者に『民俗学者・小泉八雲』(恒文社、1995年)、『怪談四代記——八雲のいたずら』(講談社、2014年)ほか。小泉八雲曾孫。日本ペンクラブ会員。

小泉八雲と神戸 1894年、熊本第五高等学校の教職を辞したラフカディオ・ハーンは、家族を伴い神戸に移住しました。英字新聞「神戸クロニクル」の記者となり、「地震と国民性」などの論説や短信の執筆を通して、日本の政治や文化の本質を描きました。1896年、帰化手続きが完了し「小泉八雲」と改名。著書『心』を出版。帝国大学に英文学講師として招かれ、東京へと立ちました。



日本文化舎

一般社団法人

nipponbunkasha

〒657-0836 神戸市灘区城内通2丁目3-501
☎090-8218-0280 ✉info@nipponbunkasha.jp
www.nipponbunkasha.jp

【予告】第3回 清明の会 楠公祭 奉祝

色々音彩 (仮称)

5月26日(日)14時 湊川神社 神能殿
日本の箏 折本慶太 朝鮮箏 京都朝鮮歌舞団